

令和8年度第1回舞鶴市文化財保護審議会 会議録

日時 令和8年6月23日（火）15時00分から

場所：舞鶴市役所別館5階 中会議室

出席：（委員）池田委員、一瀬委員、伊庭委員、加藤委員、田中委員、並木委員、日向委員、森島委員、吉岡委員 計9人

（事務局）小島部長、森次長、神村課長、田中係長、濱田、矢内、尾崎

欠席委員：上杉委員、高田委員、廣瀬委員

会議内容：

1. 開会

小島部長より開会挨拶

吉岡会長より開会挨拶

委員および事務局の自己紹介

2. 報告事項

■令和8年度歴史文化まちづくり課体制について

事務局より説明（資料1）

（委員からの意見等無し）

■令和8年度文化財関係事業について

事務局より説明（資料2・資料3）

（委員からの主な意見等）

- 第36次田辺城跡発掘調査の写真の詳細について。

→事務局）写真は調査区（中央）を北側から撮影したもの。写真に写っている大きな石は石垣の基底部分。また、裏込の残存も確認された。

■吉原伝統的建造物群保存地区の都市計画決定について

事務局より説明（資料4）

（委員からの主な意見等）

- 重要伝統的建造物群保存地区選定までの見通しについて。

→事務局）本年4月1日に伝統的建造物群保存地区の都市計画決定を行い、文化庁へ報告済み。今後は6月議会において建築基準法緩和条例が可決された後、保存活用計画を添えて、国に対して重要伝統的建造物群保存地区への選定申し出を行う予定。申し出後は国の文化審議会での諮問を経て、今年度中の選定を目指す。

3. 協議事項

■令和8年度指定・登録候補文化財について

事務局より説明（資料5、資料6-1、資料6-2）

（委員からの主な意見等）

- 大内椀は附指定等を検討している関連資料はあるか。
→事務局）現時点では詳細な調査記録等持ち合わせていないが、調査の中で関連資料が見つかった場合は附指定の検討も含めて報告する。
- 登記簿は一義的なものではないため、松栄館の建築年代は調査で確認を。
→会長）以前に松栄館の屋根裏へ入った際、棟札等は確認できなかった。トラス構造で鉄の道具なども残っており、昭和初期頃の建築かと思われる。
- 古い旅館には掛軸が多数残されている可能性が高い。調査において併せて確認してほしい。
→事務局）現在も残されているか不明ではあるものの、なるべく美術工芸品含め関連資料として調査していきたい。
- 旧鎮守府司令官官邸一帯を史跡としての評価などはできないのか。
→事務局）現在は防衛省の所管となっており、所有者と協議を進めている状況。史跡整備にあたっては所有者の同意が不可欠であり、実現に向けた課題は多いものの、市としては海軍の街の歴史を物語る貴重な建造物であると認識しており、可能な限り保存していく方針。
- 文化財登録は手間がかかるが、所有者に不利益がかかるものではない。活

用をしながら保存されていくことが重要なので、ぜひ積極的に取り組んでもらいたい。

4. その他

■イベント情報

事務局より説明（チラシ）

（質問等無し）

5. 閉会